

-----  
JVCシニアクラブニュース 2008年11月号 (No.21-1)  
-----

発行: JVCシニアクラブ  
会長: 菅沼 喜久次

■ご挨拶

平成21年度「JVCシニアクラブ」第7回総会が開催されました。平成20年10月18日(土)、爽やかな秋晴れの中、会場の日本ビクター「けんぽ会館」に参加者54名が集合、報告・質疑応答を経てすべての議案が承認されました。内容については総会議事録をご参照ください。

この総会において、新たに役員が改選され、21年度の活動をスタートしたところです。JVCシニアクラブの会員は200名を超えました。この活動を一段と発展させていくためにも、更に多くの皆様の新規加入の働きかけと、会員相互のコミュニケーションを深めていくことが大切と考えます。

シニア世代が生き生きと生活できる世の中の制度作りへの働きかけも重要です。

皆様方の積極的なご参加とご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

■総会記念講演が行なわれました

総会終了後、同会場において「社会保障制度・崩壊の危機への対応」と題して、神奈川シニア連合 会長 新田尊士氏による記念講演が行なわれました。

講演要旨は次の通りです。

1) 日本は超少子・高齢社会(高コスト社会)になっているのに社会保障制度が子供服を着たままの状態である。(仕組みや制度・予算などが対応していない)

2) 医療の現場は医師・看護師不足で、救急医療のたらい回しや僻地医療の崩壊など多くの問題を抱えている。介護の現場においてもこれは同様。家庭における老々介護も多い。

3) 後期高齢者医療制度を創設したが、運営主体が「広域連合」という寄り合い所帯で、財政も権限もない無責任なものである。

4) それではどうするか・・・政権交代を通じて「老人保険制度」を復活させる。

そして①私たち一人一人が健康に留意して元気に生活すること。②「安心して子供を産み育てやすい社会環境づくり」を目指した制度改革に、各人が認識を持って取り組んでいくことが大切である。

(講演のレジメをご参照ください)



ジェスチャーを交え熱弁をふるう新田講師

## ■シニアクラブ総会風景



日本ビクター「けんぽ会館」



総会参加者



菅沼会長挨拶



来賓の君塚労組委員長(会社の現状を報告)



総会、記念講演終了後 参加者全員で記念写真

## ■事務局から

今年度から事務局長を担当いたします田代です。  
シニアクラブ会員相互のコミュニケーションをより高めていくために、シニアクラブニュースを発行いたします。まずは駆け出しの状態ですが、皆様方からのご意見やご要望をいただき、より良いものにしていきたく思います。積極的なご提案をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。 以上

